

国土交通省の通訳案内士試験ガイドライン

【1】日本地理

(1) 試験方法

- ・ 試験時間は 40 分とし、問題の数を 40 問程度とする。(参考) 平成 17 年度試験: 3 題(32 問)、試験時間は外国語以外の 3 科目(日本地理、日本歴史及び一般常識)合計で 120 分
- ・ 解答方式は、選択式(マークシート方式)とする。
- ・ 極端な難問とされるような問題を避け、日本の地理についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)であって、訪日外国人旅行者の関心の強いものに関する知識を問うものとする。
- ・ 内容は、中学校及び高校の地理の教科書並びに地図帳をベースとし、地図や写真を使った問題を 3 割程度出題する。
- ・ 毎年の出題レベルをできる限り同じにするため、平均点が 60 点程度となるような出題に努める。

(2) 合否判定

- ・ 合否判定は、平均点が 60 点程度となることを前提に、概ね 60 点を合格基準点として行う。

【2】日本歴史

(1) 試験方法

- ・ 試験時間は 40 分とし、問題の数を 40 問程度とする。(参考) 平成 17 年度試験: 9 題(45 問)、試験時間は外国語以外の 3 科目(日本地理、日本歴史及び一般常識)合計で 120 分
- ・ 解答方式は、選択式(マークシート方式)とする。
- ・ 極端な難問とされるような問題を避け、日本の歴史についての主要な事柄(日本と世界との関わりを含む。)であって、訪日外国人旅行者の関心の強いものに関する知識を問うものとする。
- ・ 内容は、高校の日本史Bの教科書をベースとし、地図や写真を使った問題も出題する。
- ・ 毎年の出題レベルをできる限り同じにするため、平均点が 60 点程度となるような出題に努める。

(2) 合否判定

- ・ 合否判定は、平均点が 60 点程度となることを前提に、概ね 60 点を合格基準点として行う。

【3】一般常識

(1) 試験方法

- ・ 試験時間は 40 分とし、問題の数を 40 問程度とする。(参考) 平成 17 年度試験: 4 題(42 問)、試験時間は外国語以外の 3 科目(日本地理、日本歴史及び一般常識)合計で 120 分
- ・ 解答方式は、選択式(マークシート方式)とする。
- ・ 極端な難問とされるような問題を避け、現代の日本の産業、経済、政治及び文化についての主要

な事柄(日本と世界との関わりを含む。)であって、訪日外国人旅行者の関心の強いものに関する知識を問うものとする。

- ・ 内容は、高校の現代社会の教科書をベースにし、新聞(一般紙)に掲載されているような最近の時事問題を加味する。
- ・ 毎年の出題レベルをできる限り同じにするため、平均点が 60 点程度となるような出題に努める。

(2) 合否判定

- ・ 合否判定は、平均点が 60 点程度となることを前提に、概ね 60 点を合格基準点として行う。